



前南進路だより

R7・第31号 3月31日発行

1、令和8年度に向けて… ~その②~

進路だより・第30号に引き続き、学校推薦型・総合型選抜に向けた準備や計画について、確認をしたいと思います。特に、年内入試（学校推薦型・総合型選抜）は、各大学の定員枠の増加に伴い、受験生も年々増加傾向にあります。志望理由書の作成から始まり、面接や小論文指導により、一般入試の学習に遅れが生じる可能性もあります。ただ、年内入試を見越した学習計画を早期の段階で立てておけば、充分に対応できるはずです。また、**国公立大への受験の機会**ととらえると、年内入試（高経・地域政策：共テ利用の学校推薦型Ⅱもあり）+前期日程+中期日程+後期日程+独自日程という具合に、国公立大への受験機会が5（6）回となります。そして、探究活動の成果を年内入試にいかすことで、志望校の合格のチャンスもひろがります。年内入試の受験を考えている人は、一般選抜の学習と並行しながら準備を進めてください。

(2) 学校推薦型・総合型選抜 ※ 螢雪時代 参照

【4～8月 対策準備期間】

- ① これまでの高校生活を振り返り、活動歴を整理 → 3年次の探究で、活動報告書を作成予定
※ 探究活動の成果をいかす。探究活動を通じて、**学問への興味・関心** → **志望校の決定** → **卒業後の進路（目標）**を整理。探究活動のテーマに関連してなくても、探究のプロセスで学んだこと（失敗したこと）をふまえ、志望理由書に記載。探究活動を中心に考える。
- ② 志望校の評価ポイントや学部・学科の学びを理解する → アドミッション・ポリシーも参考に
※ 「なぜ、その大学で学びたいのか」を明確にする（=他大学との差別化）。資格取得や学生の雰囲気ではなく、「大学での学びが、自分にとってなぜ必要か」・「自分の将来の進路（目標）にどうつながるか」を意識。
- ③ 自分の長所・短所、興味・関心、価値観を整理し、言語化する → 自己理解
※ 面接時に、「自己PRを1分間でしてください」などの質問は、常に想定。大学HP等で、予め確認しておくことが重要。
- ④ ①～③の準備を通して、志望理由を明確にする → 志望理由書の作成と面接準備へ
※ 志望理由書の仕上がり具合が、年内入試の合否のカギ。自分の中で、きちんと整理したことが文章で表現されているか。
- ⑤ 志望校にあった受験対策の方針を先生と相談

【7月～出願 志望理由書の作成】

- ① [志望理由の確認] 大学で学びたい内容と高校までの経験とのつながりを整理
※ 探究活動のテーマ、課題解決で得た発見などを自分の中で整理してみる。
- ② [要素検討・文章作成] 必要なエピソードやキーワードなどを組み立てて文章化
※ 探究活動における外部機関とのインタビューや質問、ボランティア活動なども参考に。

③ [修正・仕上げ] 先生の添削指導を受けながら、修正を繰り返して仕上げる

※ 志望理由書の準備・作成を早い時期から始める

↓

良い志望理由書が完成 = 添削指導を十分に受ける（何度も書き直す）

↓

志望理由書の記載に関連した内容を、面接で聞かれる

※ 志望理由書をしっかり書くことで、面接対策につながる。志望理由書 = 面接を常に意識。

【7月～試験直前 小論文対策】

① 志望校の出題形式・字数や特徴、頻出テーマを把握

※ 字数が 800 字であれば、790 字前後を目標とする（ギリギリまで）。

② 学部関連の基礎知識や視点、答案作成の基本手順を学ぶ

※ 小論文と感想文の違いに注意。

小論文 = 提示されたテーマに対し、論理的な根拠（理由・背景など）を基に、自身の意見・主張を客観的に述べる。

③ 「答案作成→添削指導→書き直す」の練習を繰り返す

※ 書くペースは、先生とよく相談。

④ 実戦演習で時間配分や答案作成の流れを確立 ← 何回も書くことが大事（=小論文に慣れる）

【試験3カ月前～ 面接対策】

① 過去の質問内容を確認し、自分なりの回答を準備 → 面接官に自分をよく知ってもらう

～定番の質問～

1) 志望理由 → その大学でなければいけない理由を明確にする

2) 何を学びたいか → 将来の目標（卒業後）と関連づける、興味・関心のある分野

3) 高校時代に頑張ったこと → 実績よりも、自分自身に主眼を置く

※ 困難な状況にどう立ち向かったか、乗り越えたか

※ 経験から何を学び、どう成長したか

4) 探究活動 → テーマ・課題設定・発表内容。探究活動を通じて、どのような非認知能力の育成につながったか

5) 将来の目標（卒業後）→ 現段階、興味・関心のある分野。「まだ決まっていない、大学で決める」などの回答は、なるべく避ける

6) 自己PR → 長所・短所（短所は、改善方法なども述べられるとよい）

② 想定外の質問もあるため、過去にない質問にも備える

③ 出願書類（志望理由書・活動報告書）の内容を、自分の言葉で説明できるようにする

④ 入退室のマナー、話し方、姿勢などのマナー → 先生に模擬面接をお願いする

※ 年内入試を考えている人は、早めに準備 → まずは、志望理由書（活動報告書）

※ 「その大学で〇〇について学び、将来〇〇になりたい」という具合に、具体的に自分の言葉で説明できることが大事

※ 受験の機会 → 年内入試が不合格であれば、一般選抜に気持ちを切り替える